

1 次の空所に当てはまる言葉をア～エから一つ選びなさい。

- ① いろいろな意味で人間はその可能性を()してきた。
ア 絶対評価 イ 過大評価 ウ 自己評価
エ 相対評価

② ここまで自分の夢を実現した君の人生には()の
ようなものを感じた。

- ア 野望 イ 要望 ウ 羨望 エ 展望
③ 新しい事を始めるときは()概念を打ち破る事も必要だ。
ア 既決 イ 既往 ウ 既得 エ 既成

2 次の言葉の使い方として正しいものをア～ウから一つ選びなさい。

- ① 無尽蔵に
ア 地球上の資源は無尽蔵にあるわけではない。
イ あの人は性格的に無尽蔵に行動するところがある。
ウ 自然災害は無尽蔵に起こるのだから、普段からの備えが必要である。
- ② げげんそうに
ア 彼は立ち上がると、げげんそうに肩をいからせた。
イ 彼はその話を聞くと、げげんそうに首をかしげた。
ウ 彼は友人を見て、げげんそうに顔をほころばせた。
- ③ 他山の石
ア 彼の失敗を他山の石として気を引き締める必要がある。
イ その行為は他山の石として後世に伝えられるだろう。

ウ その争いは他山の石なのだから、関わりを持たないほうがいい。

3 次の空所に当てはまる慣用句をア～エから一つ選びなさい。

- ① 逆境を()にして成功した例はたくさんある。
ア 友 イ 境 ウ 反比例 エ ばね
② よく子供をかわいがるよ。()に入れても痛くないという感じだね。

ア 口 イ 鼻 ウ 目 エ 耳
③ この結果に、ホッと()をなでおろしたのは私だけではなかった。
ア 舌 イ 肩 ウ 両手 エ 胸

4 次の①～③に当てはまる言葉をア～エからそれぞれ一つ選びなさい。

- ① 実物とまぎらわしいほどの()にある種の衝撃力がそなわっていることは否定できない。しかしそれが美術の名に値するかどうかは、また別問題である。たとえば料理店の入り口に並べられた繊細工の見本、毎度のことながら感心させられても、感動させられることはまずありえない。スーパー・リアリズムも今でこそ()を得て、美術館入りをはたした作品も少なくないが、出始めのころはやはり世間の()をひそめさせたものである。「可憐な美少女」
- ② 写真 イ 実像 ウ 爆発 エ 創造
③ ア 肖像権 イ 市民権 ウ 自由権 エ 社会権
④ ア 風 イ 眉 ウ 声 エ 額

1

⑤ ② ①

2

① ③ ④

3

① ② ①

4

③ ② ①

第2回 解答と解説

1 イ… ↓「過小評価」

② ウ… 「せんぼう」と読み、「うらやましく思うこと」。

③ エ… 社会で広く認められている考え方。

2

① ア… いくらとつても、つきないこと。

② イ… なんとなく、納得していない様子。

③ ア… よその山から出たつまらない石でも、自分の寶石をみがく役に立つという意味から、他人の言動を自分の参考とすること。

3

① エ… 「逆境」とは「不運な境遇」のこと。

② ウ… この上なく、かわいいと思っている様子。

③ エ… 安心すること。

4

① ア… 物事の実際の姿をそのまま絵などに写し出すこと。

② イ… 本来の意味は「市民として政治に参加できる権利」のこと。

③ イ… いやな顔をすること。

第2回 家庭学習用課題

月 日

(1) 「自分を過小評価する」ということは、どういうことか。

(2) 「既成」と「既製」の意味の違いを辞書で調べなさい。

(3) 「ばね」は人間の身体においてはどのような意味で使われるか。

(4) 「膺」を使う慣用表現を三つ書きなさい。

(5) 「盾を開く」とはどのような意味か。

(6) 次の文の傍線部に注意しながら、音読しなさい。

そもそも国政は、国民の厳肅な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。

(日本国憲法前文より)

— より広い知識のために —